

令和 6 年度
福島町議会
定例会 6 月会議

令和 6 年 6 月 2 0 日（木）

諸 般 の 報 告
(第 1 号)

福島町議会

1 提出された案件

(1) 町長提出案件

- 議案第 6 号 福島町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 議案第 7 号 福島町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第 8 号 第 6 次福島町総合計画の変更について
- 議案第 9 号 青少年交流センター増築工事の内建築主体工事請負契約の締結について
- 議案第 10 号 青少年交流センター増築工事の内機械設備工事請負契約の締結について
- 議案第 11 号 令和 6 年度福島町一般会計補正予算（第 3 号）について
- 議案第 12 号 令和 6 年度福島町介護保険特別会計補正予算（第 1 号）について
- 議案第 13 号 令和 6 年度福島町浄化槽事業会計補正予算（第 1 号）
- 報告第 1 号 福島町議会一般質問等答弁事項進捗状況調査の報告について
- 報告第 2 号 令和 5 年度福島町一般会計繰越明許費の報告について
- 報告第 3 号 第 1 期福島町障がい福祉プランの策定について

(2) 議会提出案件

- 発委第 1 号 日本政府に核兵器禁止条約への参加・調印・批准を求める意見書の提出について
- 発委第 2 号 地方財政の充実・強化に関する意見書の提出について
- 発委第 3 号 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率 1/2 への復元、教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書の提出について
- 発委第 4 号 道教委「これからの高校づくりに関する指針」（改定版）を見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書の提出について
- 発委第 5 号 ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書の提出について
- 発委第 6 号 令和 6 年度北海道最低賃金改正等に関する意見書の提出について

2 町長・その他の執行機関から通知のあった説明員

町長	鳴海 清春	副町長	小鹿 一彦
総務課長	小鹿 浩二	企画課長	村田 洋臣
産業課長	福原 貴之	町民課長兼吉岡支所長兼認定こども園福島保育所園長	深山 肇
町民課参事兼会計管理者	古一 直喜	福祉課長	佐藤 和利
建設課長	紙谷 一	福祉センター次長	(石川 秀二)
教育長	小野寺 則之	事務局長兼給食センター長	石川 秀二
農業委員会事務局長	(福原 貴之)	選挙管理委員会書記長	(小鹿 浩二)
監査委員	本庄屋 誠	監査委員	高田 重美
監査委員補助職員	(鍋谷 浩行)		

3 職務のため出席した議会事務局職員

議会事務局長	鍋谷 浩行	議事係長	山下 貴義
主 任	角谷 里紗		

4 監査報告

- 6月4日 監査委員から、会計例月検査結果の報告があった。(浄化槽事業会計)
6月6日 監査委員から、会計例月検査結果の報告があった。(水道事業会計)
6月7日 監査委員から、会計例月検査結果の報告があった。
〔 一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、国民健康保険診療所特別会計 〕

5 福島町ふるさと応援基金の運用状況等の報告

- 6月12日 町長より、令和5年度福島町ふるさと応援基金の運用状況等の報告があった。

6 休会中の所管事務調査の申し出

- 6月7日 総務教育常任委員会から休会中の所管事務調査等の申し出があった。
6月7日 経済福祉常任委員会から休会中の所管事務調査等の申し出があった。
6月7日 広報広聴常任委員会から休会中の所管事務調査等の申し出があった。
6月13日 議会運営委員会から休会中の所管事務調査等の申し出があった。

7 一部事務組合の報告

- 5月14日 佐藤孝男議員から令和6年第1回渡島西部広域事務組合議会臨時会の報告があった。

8 議会評価及び議員自己評価等

- 4月28日 令和5年度の議会評価を決定した。
- 4月28日 令和5年度議員の自己評価及び令和6年度議員活動の目標（公約）を集約した。（9人提出）

9 議会に関連した諸行事（令和6年度福島町議会定例会5月会議後、本日まで）

- 5月13日 議会運営委員会（定例会5月会議の反省）
〃 第1回渡島西部広域事務組合議会臨時会
〃 第1回議会基本条例諮問会議
16日 渡島西部四町議会議員協議会理事会（正副議長・議会運営委員長）
17日 議会運営委員会（議会だより）
20日 前田一男政策懇談会（函館市、議長）
21日 町村議会議長・副議長研修会（東京都、副議長）
23日 渡島総合開発期成会総会（函館市、議長）
25日 吉岡小学校大運動会（議長ほか）
6月1日 福島小学校運動会（議長ほか）
5日 経済福祉常任委員会
〃 総務教育常任委員会
8日 自衛隊大湊警備隊水中処分母船入港歓迎式（副議長）
9日 向山じゅんと道南の未来を語る会（函館市、議長）
10日 渡島町村議会議長会連絡会議（札幌市、議長）
11日 北海道町村議会議長会総会（札幌市、議長）
13日 正副議長会議（定例会6月会議議案説明）
〃 老人クラブ連合会総会（議長）
〃 定例会6月会議一般質問通告
〃 議会運営委員会（定例会6月会議の運営）
18日 定例会6月会議に係る議員勉強会
20日 定例会6月会議

福島町ふるさと応援基金の運用状況等の報告

令和6年6月12日付け福企画号で、令和5年度福島町ふるさと応援基金の運用状況等の報告があったので、下記のとおり報告する。

令和6年6月20日提出

福島町議会議長 溝部 幸基

記

- 1 令和5年度福島町ふるさと応援基金の運用状況等について

福島町ふるさと応援基金の運用状況等について

福島町ふるさと応援基金の令和5年度の運用状況等は、次のとおりです。

1 寄付金の内訳（令和6年3月31日現在）

（1）ふるさと応援寄付金（一般分）

事業の種類		件数	寄附金額 ①	条例第4条 第2項の指定額 ②	処分金額③		残 高 ①+②-③
					条例第2条各号の 事業区分	条例第7条各号の 経費	
1. 産業の充実 及び整備に関 する事業	R4末	3,819件	53,883,368円	213,000円	179,000円	23,679,000円	30,238,368円
	R5	865件	11,003,000円	0円	12,965,000円	5,289,000円	△ 7,251,000円
	累計	4,684件	64,886,368円	213,000円	13,144,000円	28,968,000円	22,987,368円
2. 生活環境の 整備及び健康 福祉の充実に 関する事業	R4末	1,917件	31,275,956円	0円	0円	11,828,000円	19,447,956円
	R5	601件	7,540,000円	0円	8,148,000円	3,624,000円	△ 4,232,000円
	累計	2,518件	38,815,956円	0円	8,148,000円	15,452,000円	15,215,956円
3. 人材育成及 び文化の向上 に関する事業	R4末	1,900件	27,850,902円	0円	5,118,000円	11,363,000円	11,369,902円
	R5	678件	7,988,000円	0円	9,077,000円	3,840,000円	△ 4,929,000円
	累計	2,578件	35,838,902円	0円	14,195,000円	15,203,000円	6,440,902円
4. コミュニ ティその他ま ちづくりに関 する事業	R4末	465件	6,474,932円	297,000円	396,000円	2,813,000円	3,562,932円
	R5	179件	2,055,000円	0円	0円	988,000円	1,067,000円
	累計	644件	8,529,932円	297,000円	396,000円	3,801,000円	4,629,932円
5. その他まち づくりのため に必要と認め られる事業	R4末	4,197件	69,575,306円	△ 510,000円	6,380,000円	26,123,000円	36,562,306円
	R5	1,513件	21,330,000円	0円	3,000,000円	10,253,000円	8,077,000円
	累計	5,710件	90,905,306円	△ 510,000円	9,380,000円	36,376,000円	44,639,306円
合 計	R4末	12,298件 12,187件	189,060,464円	0円	12,073,000円	75,806,000円	101,181,464円
	R5	3,836件 3,835件	49,916,000円	0円	33,190,000円	23,994,000円	△ 7,268,000円
	累計	16,134件 16,022件	238,976,464円	0円	45,263,000円	99,800,000円	93,913,464円

※1

※合計欄の下段は実際の寄付件数。ANAからの寄付は事業の種類を複数選択できるため、事業の種類の子付件数と実際の寄付総件数とずれが生じる。

(2) 地域再生法第5条第4項第2号に規定するまち・ひと・しごと創生寄附活用事業（企業版ふるさと納税）

事業の種類	件数	寄附金額 ①	条例第4条 第2項の指定額 ②	処分金額③		残 高 ①+②-③
				条例第2条各号の 事業区分	条例第7条各号の 経費	
1. 産業の再生 による雇用を 創出し次世代 を担うリー ダー等を育成 する事業	R4末	0件	0円		0円	0円
	R5	4件	12,300,000円		1,600,000円	10,700,000円
	累計	4件	12,300,000円		1,600,000円	10,700,000円
2. 若者等の定 住を促進し、 子育て環境を 充実する事業	R4末	0件	0円		0円	0円
	R5	1件	500,000円		0円	500,000円
	累計	1件	500,000円		0円	500,000円
3. 時代に合った まちをつくり、 町民の安心安全 な暮らしを守 るとともに、がん 予防対策を充実 する事業	R4末	0件	0円		0円	0円
	R5	0件	0円		0円	0円
	累計	0件	0円		0円	0円
4. まちを訪れ る人を増や し、交流や移 住を促進する 事業	R4末	0件	0円		0円	0円
	R5	2件	51,000,000円		1,000,000円	50,000,000円
	累計	2件	51,000,000円		1,000,000円	50,000,000円
企業版ふるさと納税 合計	R4末	0件	0円		0円	0円
	R5	7件	63,800,000円		2,600,000円	61,200,000円
	累計	7件	63,800,000円		2,600,000円	61,200,000円

2 基金運用状況

(単位：円)

区分	前年度末 現在 高	決算年度中増減高			決算年度末 現在 高	備 考
		元金及び利息				
		積立金	支消金	差引		
道南うみ街 信用金庫	100,073,000円	112,750,000円	57,184,000円	55,566,000円	155,639,000円	うち利息（累計）※1 502,925円 うち一財（累計）※2 4,611円

（積立金累計残高を千円単位に調整するため、R5年度寄附金額49,916,000円とR4年度基金積立後に寄附のあった1,624,000円及び預金利息9,979円の合計額51,549,979円に一般財源21円を加算した額である51,550,000円と企業版ふるさと納税61,200,000円の合計112,750,000を基金に積み立て。）

※1 R6.3.31までの基金の利息の累計額

※2 基金積立てにあたり、積立額を千円単位とするために加算した一般財源のR6.3.31までの累計額

休会中の所管事務調査の申し出

各常任委員会等から、休会中の所管事務調査等の通知があったので報告する。

令和6年6月20日提出

福島町議会議長 溝部 幸基

記

常任委員会名	調査事件名
総務教育常任委員会	調査事件2 熱中症対策について 調査事件3 その他所管に関する事項について
経済福祉常任委員会	調査事件1 指定管理事業の現状と展望（吉岡温泉、岩部クルーズ、製氷貯氷施設）について 調査事件2 あわび陸上養殖事業の進捗状況について 調査事件3 その他所管に関する事項について
広報広聴常任委員会	調査事件1 その他所管に関する事項について
議会運営委員会	地方自治法第109条第3項に規定する事項 1 議会の運営に関する事項 2 議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項 3 議長の諮問に関する事項

渡島西部広域事務組合議会の報告

渡島西部広域事務組合議会より5月13日開催の令和6年第1回臨時会の報告があったので、下記のとおり報告する。

令和6年6月20日提出

福島町議会議長 溝部 幸基

記

令和6年第1回渡島西部広域事務組合議会臨時会の 結果について (報告)

令和6年5月14日

福島町議会議長 溝部 幸基 様

渡島西部広域事務組合議会議員
報告者 佐藤 孝男

令和6年5月13日に開催された、令和6年第1回渡島西部広域事務組合議会臨時会の結果を報告します。

1 定例会の内容について

審議した議案は、監査委員の選任と財産の取得4件と補正予算（第1号）の計6件でした。

2 審議した議案の内容について

件 名	内 容
同意第1号 監査委員の選任について	山田 顕人氏（知内町）の監査委員の選任に同意しました。

議案第 1 号 財産（福島消防署消防指揮広報車）の取得について 【原案可決】	関係条例の規定に基づき、次のとおり福島消防署消防指揮広報車の購入を議決しました。 契 約 方 法 指名競争入札 契 約 金 額 12,320,290 円 契約の相手 札幌市東区苗穂町 13-2-17 株式会社 北海道モリタ 代表取締役 岩村 純一
議案第 2 号 財産（知内消防署電動式油圧救助器具）の取得について 【原案可決】	関係条例の規定に基づき、次のとおり知内消防署電動式油圧救助器具の購入を議決しました。 契 約 方 法 指名競争入札 契 約 金 額 9,581,000 円 契約の相手 札幌市中央区北 13 条西 17 丁目 1-36 株式会社 北海道ムラカミ 代表取締役 村上 和輝
議案第 3 号 財産（知内消防署消防広報車）の取得について 【原案可決】	関係条例の規定に基づき、次のとおり知内消防署消防広報車の購入を議決しました。 契 約 方 法 指名競争入札 契 約 金 額 11,236,790 円 契約の相手 函館市昭和 3 丁目 25-36 山崎自動車株式会社道南営業所 所長代理 稲垣 隆弘
議案第 4 号 財産（木古内消防署消防指令車）の取得について 【原案可決】	関係条例の規定に基づき、次のとおり木古内消防署消防指令車の購入を議決しました。 契 約 方 法 随意契約 契 約 金 額 7,845,116 円 契約の相手 札幌市白石区東札幌 2 条 1-5-5 北海道ドライケミカル株式会社 代表取締役社長 藤井 良孝
議案第 5 号 令和 6 年度渡島西部広域事務組合一般会計補正予算（第 1 号） 【原案可決】	消防庁舎冷房設備設置工事により 3,200 千円を追加し、予算総額を 16 億 6,438 万 5 千円としました

※議案・関係資料は、議会事務局に保管してありますので、ご参照ください。

議会の評価及び議員の自己評価等の報告

議会基本条例第17条（議会白書、議会・議員評価）に基づき、議会の評価及び議員の自己評価等を決定したので、これを報告する。

令和6年6月20日提出

福島町議会議長 溝部 幸基

記

- 令和5年度「議会の評価」
- 令和5年度「議員の自己評価」
- 令和6年度「議員活動の目標（公約）」

議会の評価・議員の自己評価の結果

(1) 令和5年度分の「議会評価」結果

「議会活動評価要綱」に基づき、議会活動を主要10項目と具体的な40項目に区分し議会運営委員会（4月26日決定）が評価し、諮問会議で内容を検討した結果を町民に公表します。

昨年と比べ、団体との懇談会が一段階改善されましたが、一般質問、研修の取り組みが一段階悪化しました。引き続き「町民が実感できる政策を提言する議会」、豊かな町づくりを目指して努力を続けてまいります。

主要評価項目	具体的な項目	過去3年間の評価			R5 評価	摘 要
		R2	R3	R4		
1. 議会の 活性度	①一般質問 (人数・項目件数)	△	△	○	△	R5年度の一般質問件数は13人・14項目であり、2人、2件の減となっている。1定例会平均質問者数3.3人(36.7%)（全国6.2人(54.1%)、全道4.5人(42.8%)、渡島管内4.4人(39.6%)）となっている。より積極的な一般質問への取り組みが必要である。
	②質疑・意見交換	○	○	○	○	本会議、常任委員会、予算・決算審査特別委員会等での審議を活発に行っている。常任委員会所管事務調査数は22件（総務教育常任委7件、経済福祉常任委15件）となっている。引き続き質疑・意見交換内容を充実する。（平均質疑者・回数：定例5人11.5回、定例外1.7人3.3回、委員会4.6人25.6回）（平均意見交換者・回数：定例2.8人6.8回、定例外0.7人1.3回、委員会4.1人16.8回）
	③討議・討論（本会議）	△	△	△	△	常任委員会所管調査、事前勉強会等の実施により本会議での討議・討論は少ないものとなっているが、引き続き「議員間討議要綱」に基づき、論点・争点を明らかにした討議・討論への取り組みが必要である。 （討議：R4=0件、R5=1件、討論：R4=0件、R5=1件）
	④討議（委員会）	○	○	○	○	各種委員会において質疑・意見交換で出された内容を論点整理した項目に沿って活発な議員間討議を行っている。 （R5開催日数：常任委員会=17日、特別委員会=8日）
	⑤議員提案	○	○	○	○	所管事務調査結果を行政側に手交することで議会の考えが政策等に反映されている。一般質問項目、「町民と議員懇談会」意見についても常任委員会で検討したが、所管調査として取組む事案はなかった。
	⑥文書質問	△	△	▲	▲	R5年度の1人・1項目であった。これまでも質問が特定の議員に偏り、項目数も低下傾向が続いていることから、政策提案等に向けた文書質問への取り組みが必要である。（R3=実1人2項目、R4=0人、R5=実1人1項目）
2. 議会の 公開度	①会議の公開	○	○	○	○	本年度は100%公開し、委員会もライブ中継・録画配信を行っている。（R5閲覧数=14,830回）
	②審議記録の公開	○	○	○	○	ホームページで全て公開している。
	③審議前会議資料の公開	○	○	○	○	基本的に全て公開している。（議場・ホームページ）
	④議会経費の公開	○	○	○	○	決算内容を含め、交際費・政務活動費などの詳細も全て議会だより・HPで公開している。
	⑤視察報告の公開	○	○	○	○	本会議・ホームページで公開している。
	⑥全員協議会の公開	○	○	○	○	ライブ中継・録画配信を行っている。
	⑦会議公開の充実 （ライブ中継）	○	○	○	○	適宜、配信機器の更新を実施し、鮮明な映像配信を行っている。町民要望に応え、スマートフォンでの視聴も可能（R元からライブも視聴可能）となっている。全道=91議会（議会中継実施）
3. 議会の 報告度	①議会だより・速報版等の発行	○	○	○	○	議論状況や内容をより分かりやすくまとめ、質疑等の掲載も充実させた。H5.8月発行分から、より詳細な情報を伝えるため記事にQRコードを添付、議会HPとの連動も進めている。全道=単独発行125議会
	②議会ホームページの運用	○	○	○	○	H28年3月より議会ホームページをリニューアル。R5年度にはHPの反応速度を上げる為の改修を行った。引き続き、迅速な公開に努める。全道HP=133議会
4. 住 民 参加度	①各種団体との懇談会の開催 （常任委員会の活動）	△	○	△	○	町内団体の状況について、状況を把握するため懇談会を開催した。 〔懇談会：R3=9回、R4=0回、R5=4回〕
	②町民と議員との懇談会の開催 （議会報告会）	○	○	○	○	R5も議員を3班に分け町内会単位で実施した。17会場のうち2会場で参加者0人となったため、R6年度の開催に当たっては懇談会の内容について開催方法も含めて検討することとしている。（R5=6日間・17会場99人）全道=45議会
	③参画者への対応と参加度	△	△	△	△	参画者にも同様の資料を用意している。討議への参画が課題である。 （R4=定例15人、平均3.8人 定例外3人、平均0.4人） （R5=定例14人、平均3.5人 定例外16人、平均1.8人） （全道平均=定例7.3人、定例外4.0人）
	④休日・夜間議会の開催	○	○	○	○	H19から夜間議会（定例）を開催している。 （参画者R4=6人、R5=3人）全道=夜間2議会、休日3議会

主要評価項目	具体的な項目	過去3年間の評価			R5 評価	過去3年間の評価
		R2	R3	R4		
5. 議会の民主度	①一般質問の改善（一問一答方式、回数・時間制限廃止）	○	○	○	○	一問一答方式を実施している（H12）。質問回数・時間の制限規定を廃止している（H20）。全道＝117 議会（一問一答方式採用）
	②説明員との対面方式	○	○	○	○	庁舎建設時から実施している（H6）。全道＝132 議会
	③一般質問の答弁書配付	○	○	○	○	実施済み（H13.9）。質問に関する的確な（漏れや補足答弁を必要としない）通告書、答弁書となるよう改善に努めている。
	④議会における選挙の改善（正副議長選挙での所信表明）	△	○	○	○	正副議長選出の際の所信表明を議会基本条例（H20）で規定している。
6. 議会の監視度	①長との適正な関係の維持（議員の政治倫理に関する取り組みの経過）	○	○	○	○	議会議員の不当要求行為等を防止する条例を制定（H20）、条例内容を拡充した議会議員政治倫理条例を制定（H30）、町長との適正な緊張関係を維持している。
	②全員協議会の適切な運用	○	○	○	○	事前協議となるような執行者からの要請による開催はしない。
	③議会権能（けん制・批判・監視等）の適切な遂行	○	○	○	○	定例会毎に議会運営等に係る反省点等を文書にまとめ、行政側に手交し説明している。常任委員会所管事務調査で取りまとめた調査意見（報告書）を行政側に手交し説明、意見交換することで委員会の意向が政策に反映されている。
	④一般質問等答弁事項の追跡調査	○	○	○	○	本会議、予算・決算審査特別委員会での一般質問等に対する町長、副町長、教育長の答弁内容に一定の指定事項を設け、追跡調査を行っている。（追跡調査件数 R3＝4 件、R4＝1 件、R5＝2 件）
7. 議会の専門度	①所管事務調査の充実強化	○	○	○	○	常任委員会の所管事務調査は論点・争点を整理し委員間で討議し意見をまとめている。委員会の意見が政策に反映されるよう、調査意見（報告書）を行政側に手交し説明、意見交換している。（調査件数 R4＝31 件、R5＝22 件）
	②政策立案・審議能力の向上・強化	○	○	○	○	常任委員会所管事務調査において、条例の制定・改正、事業計画等の案件について、議会として町民の利益になるような修正意見を提言している。 ・福島商業高等学校の魅力化 ・社会福祉協議会の運営 ・有害鳥獣減容化処理施設の管理 ・家庭ごみ減量化対策 等 令和 4 年度決算に基づき 67 件（総務教育常任委関連 39 件、経済福祉常任委関連 28 件）の事業について行政評価をした。 第 6 次総合計画策定に係る特別委員会を設置、構想から実施計画まで 4 回開催し意見を提言している。
	③議決権範囲の拡大	○	○	○	○	町の主要計画を議決対象としたことで、各計画が広く認識され内容の充実に繋がっている。継続的に見直しを行い、現在の議決対象計画等は 13 件となっている。（令和 5 年度に追加・削除した議決対象計画等はなし。）
8. 事務局の充実度	①議場等の整備充実	○	○	○	○	議場映像設備（R 元）、議場等音響設備（H28）の更新を行うなど、設備の適正管理により映像配信等の精度向上が図られている。タブレット端末の導入（R3）により議案等のペーパーレス化も図られている。
	②事務局の充実強化	○	○	○	○	情報公開の迅速化、情報・資料収集の充実、法務能力の向上などに取り組んでいる。職員体制は正職員 3 人、会計年度任用職員 1 人で充実している
9. 適正な議会機能	①法規定以外の執行部付属機関への委員就任廃止	○	○	○	○	法定となっている、都市計画審議会のみ就任している。
	②適正な議会経費	○	○	○	○	諮問会議の答申を踏まえ、適正な議会活動費の基準となる標準額を決定、令和 4 年度からはペーパーレス会議システムに係る費用を追加したため、令和 5 年度に見直している。（当初標準額＝3,184 千円・R5 見直し標準額＝6,148 千円、R5 予算 5,695 千円）
	③議会の自主性強化	○	○	○	○	「議会基本条例見直し検討による行動計画」に基づき課題に取り組んでいる。平成 21 年度より年度を会期（期間）とした「通年議会」を実施している。議会基本条例等の検証と実績の反映を期し、平成 30 年度に全体的にわかりやすく改正、新たに 2 条例・7 要綱を制定（議会参画条例・政治倫理条例等）
	④議会付属機関の設置（議会基本条例諮問会議）	○	○	○	○	議会基本条例諮問会議を設置し毎年度数項目を諮問し、それぞれ答申を受け議会活動に反映している。諮問会議条例の改正（R4.1）；諮問委員数を 5 名から 10 名に増員。（産業・文化・スポーツ団体等の推薦、公募）
	⑤系統議長会の体制整備	○	○	○	○	道議長会に対し、町村議会が利用しやすいホームページへの見直しを要望している。（資料提供、道内の町村議会へのリンク等）
	⑥条例の制定・改正	△	○	○	○	・福島町議会議員歳費・費用弁償等条例の一部改正（6 月、11 月会議） 改選期に向け議員のなり手不足対策として歳費月額を増額した。 また、期末手当の支給月数について町特別職に合わせて改正した。
10. 研修活動の充実強化	①研修の効率的な取り組み	△	△	○	△	本会議等の事前勉強会を実施し議案等の要点や問題点を確認している。議員研修会の報告をし情報共有を図っている。R5 年度は改選期ということもあり、下半期に常任委員会等が集中したことから、政務活動費を活用した議員の視察等は行わなかった。
	②視察受入れ市町村等	△	○	○	○	R5 年度に受け入れた視察の数は 5 件で、宮城県仙南・亙理地方町議会議長会、岩手県八幡平市議会、北海道美瑛町議会、佐賀県三養基郡町村議会議長会、熊本県多良木町議会から、議会改革等について視察を受け入れた。（R3＝0 件、R4＝5 件、R5＝5 件）

【議会評価に対する諮問会議意見】

◎議会運営委員会による議会評価についてはおおむね適正であると判断するが、議会評価の項目や摘要欄には専門用語が多用され理解しづらく、議会の仕組みや役割について町民によく理解されていない部分が多いと思われることから、わかりやすい表現を用いて広く周知するよう努められたい。

（２）令和５年度分の「議員の自己評価」結果 □自己評価は次の指針により実施しています。

平成 17 年から始めた議員の自己評価は、今回で 19 回目となります。右表の 5 主要指針に基づいて具体的に取り組んだ事項を「取組の評価」と「成果の評価」としてそれぞれ 3 段階で自己評価したものです。

集計の結果、「取組の評価」については、項目全体の 143 項目中、「○ほぼ満足」が 68 件で 48%、「△努力が必要」が 55 件で 38%、「▲さらに努力が必要」が 20 件で 14%となりました。

次に、「成果の評価」については、項目全体の 143 項目中、「○ほぼ満足」が 25 件で 17%、「△努力が必要」が 74 件で 52%、「▲さらに努力が必要」が 44 件で 31%となりました。

取組の評価では「○ほぼ満足」が 48%ですが、成果の評価では 17%と大きく差があります。

今後も各議員の取り組みが今まで以上に成果として反映されるように努力する必要があります。

議員個人としての活動については、2 名の議員から報告がありました。

主要指針	評価の指針等
1. 態度	町民の立場で発言・行動をしているか。議会での態度（居眠り、私語など）、審議の態度（品位の保持、審議への協力）
2. 監視	一般質問、質疑・意見交換・討議、討論などで行政執行をチェックしたか。
3. 政策提言	町民の意向を政策に反映させるため、行政への一般質問、質疑・意見交換・討議、討論などで政策提言をしたか。
4. 政策実現	一般質問、質疑・意見交換・討議、討論などで指摘した事項が改善されたか。政策提言した事項が実現したか。
5. 自治活動 議会改革	議会報告をしているか。地域活動へ参加しているか。町づくりなどへの貢献度、町民ニーズの把握はどうか。

○議員別の評価集計

議員名	藤山 大		杉村 志朗		佐藤 孝男		小鹿 昭義		平沼 昌平	
項目	成果	取組	成果	取組	取組	取組	成果	取組	取組	結果
○ ほぼ満足	5	4	9	4	7	4	4	0	4	0
△ 努力が必要	13	11	1	6	7	6	12	13	6	8
▲ さらに努力が必要	0	3	1	1	0	4	0	3	4	6
計	18	18	11	11	14	14	16	16	14	14

議員名	木村 隆		熊野 茂夫		平野 隆雄		溝部 幸基		合 計	
項目	取組	結果	取組	取組	取組	結果	取組	結果	取組	結果
○ ほぼ満足	7	4	4	4	21	2	7	3	68	25
△ 努力が必要	2	5	0	0	2	17	12	8	55	74
▲ さらに努力が必要	0	0	0	0	0	4	15	23	20	44
計	9	9	4	4	23	23	34	34	143	143

〔分野別の評価種類は、次のとおり省略しています。〕「取組」＝取組の評価 「結果」＝結果の評価

○議員個人としての活動

	藤山 大	溝部 幸基
報告会等の実施	1	1
議員だよりの発行	—	—
個人ホームページの開設	—	○
その他（SNS 活用等）	○	—

●議員活動の目標（公約）

選挙公報による公約とともに、適正な議会・議員の役割を果たすために、前年の自己評価による反省点や課題などを翌年の議会・議員活動の目標（公約）として、平成 19 年から公表しています。

本年度は、9 名の議員で総数 152 項目（昨年度：9 名提出 137 項目）となりました。

「議員」の評価結果（個人票）

藤 山 大 49 歳

総務教育常任委員長、議会運営委員 議員歴 11 年

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	成果
行政	第 2 青函トンネル構想推進	△	△
	若者の定住・少子化対策と高齢者にやさしい町づくりの政策提言	△	△
	危険と思われる町道整備と防災のスピーディーな対策の推進	△	△
財政	優先順位を持った財政運営の推進	○	○
	町立診療所運営健全経営推進	△	▲
経済	一次産業のさらなる発展への提言	△	△
	漁業者へのやさしい対応と漁獲量につながる新たな提言	△	△
	農業者へのやさしい対応と後継者育成	△	▲
	B 級グルメ等福島町の良さの PR 強化	△	△

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	成果
福祉	町民が安心安全な町づくりとサポート体制	△	△
教育	福島商業高等学校存続対策	○	○
	文化・伝統を後世に残すための取り組み（四ヶ散米行列、奴行列、荒馬、七福神等）	△	△
その他	今後の「道の駅」のあり方	△	△
	各種行事への積極的な参加	○	○
	各種団体と協力し、経済効果に繋がる集客力が期待できるイベントへ発展させるための提言	△	△
	松前半島高規格道路整備の推進	△	▲
	観光客を増やすための P R（岩部クルーズ・両記念館等）	○	△
	インターネットを使つての報告 (YouTube、Twitter、Zoom)	○	○

杉 村 志 朗 75 歳

総務教育常任委員 議員歴 25 年

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	成果
行政	第 2 青函トンネル構想の活動推進	○	△
	防災危機管理の訓練	○	△
財政	各町内会館の推進	○	○
	無理のない基金の活用	○	○
経済	スルメ加工従事者の高齢化対策	○	△
	養殖アワビ飼育の安定営業	○	△

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	成果
福祉	町立診療所に対する調査	△	△
	高齢化対策に関する調査	○	○
	少子化対策と高齢者医療の推進	○	△
教育	令和 6 年度高校入学者の増に期待	○	○
その他	運転免許返納者への対応	▲	▲

木 村 隆 44 歳

総務教育常任委員、議会運営委員、渡島西部広域事務組合議会議員 議員歴 17 年

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	成果
行政	総合計画 6 次への提案、提言	○	○
	当町の脱炭素政策の具体的な方向性	○	△
財政	大型公共施設完成後の財政運営の注視	○	△
経済	コロナ 5 類移行後の経済循環政策	△	△
	昆布養殖作業効率向上政策	○	△

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	成果
教育	義務教育予算の確保（教科担任制など）	○	○
	高校入学生徒の P R	○	○
その他	松前半島道路（防災道路）計画の遂行	○	○
	第 2 青函トンネルの機運向上政策	△	△

小 鹿 昭 義 71 歳

経済福祉常任副委員長 議員歴 4 年

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	成果
行政	一人ひとりが輝く、みんなが主人公のまちづくりへの提言	△	△
	第2 青函トンネルの構想実現	○	△
	新しい風を吹き込み、安全安心で安定したまちを構築し、町民と共に未来に向かうまちづくりへの提言	△	△
財政	財政歳入歳出の更なる透明化の向上を図り、健全な町運営を推進	△	▲
	経費全体についての見直しを行い、予算編成の見直しを提言	△	△
経済	農業、漁業、水産、林業、商工業、観光などの地場産業の振興の推進	△	△
	物価高による町民に対する経済面の支援を提言	○	△
	自然、文化、歴史など、まちの特性を活かした広域観光の事業の推進	△	△
	新卒者や求職者のための雇用の場を確保するため、企業誘致の推進を提言	△	△

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	成果
福祉	お年寄りや身体の不自由な方の要望に応じていく仕組みの確立化を推進	△	▲
	お年寄りを助成する施設や、民間企業への支援を推進	△	△
	子どもたちの社会教育の充実を目的に、お年寄りとの交流機会を推進	△	▲
教育	小・中学生のパソコンを使ったプログラミングなど、資格取得へ向けた学習の提言	○	△
	低学年向けにネイティブでやさしい会話教育の場を提言	△	△
	家庭、学校、社会が連携した町民主体の文化、スポーツ活動を支援し、自ら学ぶ意欲と個性を伸ばしていく教育を推進	△	△
その他	町民の目線に立ち、町議、町職員と共に、話し合い、「町民のためになるのか。ならないのか。」を見極め、課題に取り組む	○	△

平 沼 昌 平 68 歳

議会運営委員長、経済福祉常任委員、
渡島廃棄物処理広域連合議会議員 議員歴 19 年

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	成果
行政	IT 環境の整備促進と移住者を呼び込む定住環境の整備促進	○	△
	第2 青函トンネル構想実現に向けた町内外に対する活動	○	△
	防災対策の対応(避難路確保、避難備蓄庫等)と危機管理の熟成を提言	△	△
財政	人口減少に対する積極的な財政支援と効率的な事業支援の提言	△	△
	子育て環境整備と出生率向上に向けた財政支援策について提言	△	▲
経済	農林水産業の担い手対策と地元企業の雇用環境の充実	▲	▲
	移住促進に向けた対応と地元町民の理解による協力体制への提言	△	△

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	成果
経済	高齢者再雇用に向けた町内企業への率先した財政支援について	△	△
福祉	ウィズコロナの対応に向けた生活環境の取組の提言	△	▲
	高齢化人口に対する福祉環境の充実と施設環境の整備に向けた提言	○	△
教育	道立福島商業高校存続のための生徒確保に向けた取組と提言	○	△
	小・中・高一貫校に向けた町独自の教育体系	▲	▲
その他	議会議員の魅力化と議会活動の見える化に取組	▲	▲
	女性議員・若手の議員のなり手お確保のための議会改革	▲	▲

佐藤 孝男 77歳

経済福祉常任委員長、議会運営委員、議員歴 29 年
渡島西部広域事務組合議会議員

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	成果
行政	若者の定住と雇用の場の推進	△	▲
	大型公共施設(吉岡温泉、種苗センター)の健全な運営を注視	○	○
財政	財政調整基金の健全な運用	○	△
経済	陸上養殖アワビの生産拡大	△	▲
	一次産業の振興と新規就業者の育成	△	△
	ほだ木の確保のための町有林の調査と作業路の整備	○	△
福祉	町立診療所の健全運営	△	▲

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	成果
福祉	予防医療の推進	△	▲
教育	学校給食での地場作物利用強化	○	△
	食育の取組み、体験学習の推進	△	△
	高校の町外からの受け入れ強化	○	○
その他	第2 青函トンネル早期実現に向けての推進	○	○
	松前半島道路（防災道路）の推進	△	△
	各種行事の積極的な参加	○	○

熊野 茂夫 74歳

総務教育常任委員、議会運営委員 議員歴 8 年

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	成果
財政	健全で持続可能な財政運営への提言	○	○
教育	こども園、小・中学校の学習環境の改善と、基礎学力向上のための提言	○	○

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	成果
教育	福島商業高等学校存続のために活動	○	○
その他	地域の生活環境の改善・整備について行政へ提言	○	○

平野 隆雄 75歳

副議長、広報・広聴常任委員会委員長、総務教育・経済福祉常任委員会委員、渡島廃棄物処理広域連合議会議員 議員歴 28 年

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	成果
行政	第2 青函トンネル構想推進の実現へ	○	△
	岩部クルーズ等の活性化による交流人口増	○	△
	福島川改修事業の早期実現	○	△
	福島（松浦）、松前（荒谷）間の新ルート防災道路の推進	○	△
財政	財政調整基金の有効活用	○	△
	コロナ後の町立診療所運営の健全経営	○	▲
	町内会にあった新しい町内会館へ	○	△
	ふるさと応援基金の有効活用	○	△
	町立診療所運営の健全経営実現へ	○	△
	旧改善センター、旧吉岡支所等の早期解体の実現へ	○	▲
経済	養殖コンブ製品増の推進	○	○
	スルメ加工品以外の商品開発推進	○	▲
	蝦夷アワビの稚貝を全力で確保	○	▲

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	成果
福祉	超高齢化と超人口減少に対する町づくりの提言	○	△
	吉岡温泉ゆとらぎ館オープン後の提言	○	△
	がん検診の検診率向上推進	○	△
教育	少子化の中の教育行政推進	○	△
	福島商業高等学校入学増の推進	○	○
	青少年交流センターで生徒と町民の交流推進	○	△
	縄文土器等による町づくり提言	△	△
その他	両記念館、伊能忠敬公園の観光客に向けたPRを推進	△	△
	福島（吉岡）、松前（荒谷）新ルート防災道路の推進	○	△
	岩部海岸クルーズによる交流人口の活性化推進	○	△

溝 部 幸 基 76 歳

議長、総務教育・経済福祉常任委員会委員、
渡島西部広域事務組合議会議長

議員歴 43 年

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	成果
行政	「両基本条例」の目的達成に向けた活動推進 (各計画に関する提言・検証)	△	▲
	自律、協働の「小規模多機能自治」を調査	▲	▲
	行政サービスの効率的な運営への提言 (外部委託・時差出勤・研修等)	▲	▲
	防災対策の提言(災害弱者・訓練・冬季対策等: 危機管理に関する研修)	▲	▲
	過疎自治体における政策推進のあり方	△	▲
	浄化槽(下水道整備)の普及推進	▲	▲
	第2青函トンネル構想実現活動推進	○	△
	ハラスメント条例の制定に向けた調査研究	△	▲
財政	財政健全化への取組(予算・決算審査・行政評価 充実:基金の有効活用)	△	△
	退職手当制度の抜本的改善	▲	▲
	各団体補助金、事業助成金等の在り方	▲	▲
経済	新しい仕事の創出(起業)に挑戦できる支援シ ステムの創設	▲	▲
	異業種連携による「福島ブランド」の開発(ブ ランド化システムの再検討)	▲	▲
	地場産品の6次産業化に関する調査研修	▲	▲
	産業団体と課題に取り組む産業公社的仕組 みづくりの調査研修	▲	▲
	地産地消、食育、環境リサイクルで「自律循 環型の町づくり」の研修	▲	▲

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	成果
福祉	過疎自治体における超高齢化対策調査	▲	▲
	全町的な「健康な町づくり」で医療費の節減	▲	▲
	公立診療所の在り方に関する調査研修	▲	▲
	在宅介護支援体制の整備(社会福祉協議会 の役割)	△	▲
	労働者協同組合に関する調査研究 (活動事例、行政連携等)	△	▲
	家庭ごみ等減量対策、具現化の調査研修	○	▲
教育	小中学校一貫教育、コミュニティースク ールに関する調査研修	▲	▲
	過疎自治体における高等教育推進調査	△	△
	「子育て基本条例」制定に向けた取組み(情報 収集・研修)	△	▲
	「自分(達)ですべき事は自分(達)でする」主 体性をもった自治活動の推進	△	▲
その他	食育・地産地消の推進(「食育基本計画」→ 情報周知・実践計画・研修)	△	△
	わかりやすく、町民が参加出来る議会の実 現(議会基本条例の周知)	○	△
	活発な討議(討論)ができる議会の実現	○	△
	政策的な提案のできる議会の実現	△	△
	幅広い情報収集、積極的な研修参加	○	○
	視察の積極的な受け入れ	○	○
	ホームページの充実(提案、情報発信、参加型)	△	△
	各種行事への積極的な参加	○	○

(3) 令和6年度の「議員活動の目標」(公約)

議員活動の目標(公約)(個人票)

目標期間：令和6年4月～令和7年3月

〔 藤 山 大 〕

分野	具体的な目標項目
行政	第2青函トンネル構想推進
	若者の定住・少子化対策と高齢者にやさしい町づくりの政策提言
	危険と思われる町道整備と防災のスピーディーな対策の推進
	防災の備えと整備(避難路・道路等)
	SNSの活用
財政	優先順位を持った財政運営の推進
	町立診療所運営健全経営推進
経済	一次産業のさらなる発展への提言
	漁業者へのやさしい対応と漁獲量につながる新たな提言
	農業者へのやさしい対応と後継者育成
	B級グルメ等福島町の良さのPR強化
	SNSの活用(PR等)

分野	具体的な目標項目
福祉	町民が安心安全な町づくりとサポート体制
教育	福島商業高等学校存続対策
	文化・伝統を後世に残すための取り組み(四ヶ散米行列、奴行列、荒馬、七福神等)
	SNSの活用
その他	今後の「道の駅」のあり方
	各種行事への積極的な参加
	各種団体と協力し、経済効果に繋がる集客力が期待できるイベントへ発展させるための提言
	松前半島高規格道路整備の推進
	観光客を増やすためのPR(岩部クルーズ・両記念館等)
	インターネットを使つての報告(YouTube、Twitter、Zoom)

〔 杉 村 志 朗 〕

分野	具体的な目標項目
行政	第2青函トンネル構想の更なる推進
	町立診療所健全経営の確立
財政	財政基金の安定活用
	各団体等の補助金、助成金の確立
経済	町内スポーツ施設利用者増の取り組みを推進
	スルメ加工以外の二次産業の推進

分野	具体的な目標項目
福祉	社会福祉協議会の安定経営
	人口増に期待する少子化対策
教育	文化や伝統の継承
	冬期間のスポーツ、文化の推進
その他	リニューアルした道の駅の今後の在り方

〔 佐 藤 孝 男 〕

分野	具体的な目標項目
行政	若者の定住と雇用の場の推進
	大型公共施設の健全な運営を注視
財政	財政調整基金の健全な運用
経済	一次産業の振興と新規就業者の育成
	ほだ木確保のため町有林の調査と作業道の整備
	陸上養殖アワビの生産拡大に向けた取り組み推進
福祉	町立診療所健全運営を注視
	予防医療の推進(がん検診向上)
	家庭ごみ減量化の取り組み推進

分野	具体的な目標項目
教育	青少年交流センター取り組み推進
	学校給食での地場産物利用強化の取り組み推進
その他	第2青函トンネル構想実現に向けた推進
	松前半島道路(防災道路)早期実現に向けた取り組み推進
	冬期防災訓練実施に向けた取り組み推進
	各種行事の積極的な参加

〔 小 鹿 昭 義 〕

分野	具体的な目標項目
行政	第2青函トンネルの構想実現
	ヒグマなどの鳥獣被害対策、空家対策への提言
	地域課題に対し、調査や意見を伺い、町民が安心・安全に住めるまちづくりの構築
財政	財政歳入歳出の更なる透明化の向上を図り、健全な町運営を推進
	経費全体についての見直しを行い、適切な予算編成を提言
経済	農業、漁業、水産、林業、商工業、観光などの地場産業振興の更なる推進
	円安による物価高に対する、町民への経済支援を提言
	新卒者や町内外の求職者雇用の場を確保するため、企業誘致の推進
	自然、文化、歴史などまちの特性を活かした広域観光の事業の推進

分野	具体的な目標項目
福祉	お年寄りや身体の不自由な方の要望に応じていく仕組みの確立化を推進
	お年寄りを支援する施設や、民間企業への経営支援を推進
	子どもたちの社会教育の充実を目的に、お年寄りとの交流機会を推進
教育	小・中学生のパソコン・タブレット端末を使った英会話オンライン（インターネット）授業など、資格取得やグローバル化に向けた学習の提言
	グローバル化に向けた低学年向けへのやさしい英会話教育の場の提言
	家庭、学校、社会が連携した町民主体の文化、スポーツ活動を支援し、自ら学ぶ意欲と個性を伸ばしていく教育を推進
その他	町議、町職員と共に話し合い、「町民のためになるのか。ならないのか。」を町民の目線に立ちながら見極め、課題に取り組む

〔 平 沼 昌 平 〕

分野	具体的な目標項目
行政	IT環境の整備促進と移住定住環境の整備促進
	防災対策の対応（避難路確保、避難備蓄庫等）と危機管理の熟成を提言
	第2青函トンネル構想実現に向けた町内外に対する活動
財政	人口減少に対する積極的な財政支援と効率的な事業支援の提言
	子育て環境整備と出生率向上に向けた財政支援策について提言
	財政健全化（予算審査、決算審査）に向けた取り組みと提言
経済	農林水産業の担い手対策と地元企業の雇用環境の充実
	地元企業が率先した高齢者再雇用を行う環境づくりに向けた取り組みと企業財政支援等検討
	気候変動から来る新たな産業創出と対応の取り組み

分野	具体的な目標項目
福祉	高齢者人口に対する福祉環境の充実と介護人材の創出
	在宅介護の抜本的な取り組みと支援体制の在り方について
	高ゴミ減量化に対する町民意識向上と理解・方策の提言
教育	小中一貫教育に対する方向性と教育環境の充実
	小中高校性の行政・議会に対する認知度の理解と交流
	IT環境の充実と脱炭素社会形成の理解とグローバル人材の育成
その他	議会議員の個々の議会活動の見える化と取組と今後の在り方
	町民に対しての斬新な議会だよりの作成と議会活動報告の充実
	次期改選期に向けた新たな議員定数と報酬、なり手対策、女性議員の選出に向けての町民理解度を上げる対応
	地場産業の充実と観光事業等の取組の提言と町民対話の充実

〔 木 村 隆 〕

分野	具体的な目標項目
行政	人口減少に伴う少子化との付き合い方
	半島振興法に伴う政策
	防災対策と危機管理のあり方
経済	ブルーカーボンの方向性の注視
	陸上アワビ稚貝の確保に向けた取り組み
福祉	保育士の確保に向けた取り組み

分野	具体的な目標項目
福祉	国保統一に向けた提言
教育	部活動の地域移行に向けた取り組み
	高青少年交流センターを中心とした高校のあり方
その他	渡島西部広域事務組合議会議員として消防、衛生の今後のあり方
	第2青函トンネル構想の機運向上政策

〔熊野茂夫〕

分野	具体的な目標項目
行政	地域生活環境整備への提言
財政	健全で持続可能な財政運営への提言
経済	昆布養殖等、水産業の発展と漁家経営安定のための提言
	農林業の発展への提言

分野	具体的な目標項目
福祉	施設介護、訪問介護のサービス安定のための提言
教育	こども園、小中学校の学習環境の改善と、基礎学力向上のための提言
	教福島商業高等学校魅力化と存続のための活動

〔平野隆雄〕

分野	具体的な目標項目
行政	第2青函トンネル構想実現推進
	福島川全体改修事業の早期実現
	町内景気対策と交流人口増
財政	財政調整基金の有効活用
	コロナ後の町立診療所の健全経営
	町内会にあった町内会館の新築・解体の早期実現へ
経済	養殖コンブ製品増の推進
	えぞあわび（養殖）生産増へ向けた提言
	スルメ以外の商品開発推進

分野	具体的な目標項目
福祉	高齢化と人口減少に対する町づくりの提言
	吉岡温泉ゆとらぎ館の活用で健康増進に向けた提言
教育	少子化の中の教育行政推進
	福島商業高等学校入学増の推進
	青少年交流センターで生徒と町民の交流推進
その他	吉岡、荒谷新ルート防災道路の推進
	岩部海岸クルーズによる交流人口の活性化推進
	両記念館と伊能忠敬公園の観光客に向けたPRの推進

〔溝部幸基〕

分野	具体的な目標項目
行政	「両基本条例」の目的達成に向けた活動推進（各種計画に関する提言・検証）
	自律、協働の「小規模多機能自治」を調査
	行政サービスの効率的な運営への提言（外部委託・時間差出勤・研修等）
	防災対策の提言（災害弱者・訓練・冬季対策等：危機管理に関する研修）
	過疎自治体における政策推進のあり方
	浄化槽（下水道整備）の普及推進
	第2青函トンネル構想実現活動の推進
	ハラスメント条例の制定に向けた調査研究
財政	財政健全化への取組（予算・決算審査・行政評価充実：基金の有効活用）
	退職手当制度の抜本的改善
	各団体補助金、事業助成金等の在り方
経済	起業に挑戦できる支援システムの創設
	異業種連携による「福島ブランド」の開発（ブランド化システムの再検討）
	地場産品の6次産業化に関する調査研修
	産業団体と課題に取り組む産業公社の仕組みづくりの調査
	地産地消、食育、環境リサイクルで「自律循環型の町づくり」の研修

分野	具体的な目標項目
福祉	過疎自治体における超高齢化対策調査
	全町的な「健康な町づくり」で医療費の節減
	公立診療所の在り方に関する調査研修
	在宅介護支援体制の整備（社会福祉協議会の役割）
	労働者協同組合に関する調査（活動事例、行政連携等）
	家庭ごみ等減量対策の具現化に向けた調査研修
教育	小中学校一貫教育、コミュニティースクールに関する調査研修
	過疎自治体における高等教育推進に関する調査
	「子育て基本条例」制定に向けた取組み（情報収集・研修）
	「自分（達）ですべき事は自分（達）でする」主体性をもった自治活動の推進
その他	食育・地産地消の推進（「食育基本計画」→情報周知・実践計画・研修）
	わかりやすく、町民が参画出来る議会の実現（議会基本条例の周知）
	活発な討議（討論）ができる議会の実現
	政策的な提案のできる議会の実現
	幅広い情報収集、積極的な研修参加
	視察の積極的な受け入れ
	ホームページの充実（提案、情報発信、参加型）
	各種行事への積極的な参加